

令和5年度

「教育に関する事務の管理及び執行状況」
の点検及び評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第26条の規定に基づき議会に提出

飯豊町教育委員会

目 次

第 1 部 教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第 2 部 教育委員会の事務の点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

1 教育委員会の活動状況

第1部 飯豊町教育委員会の活動状況

1 教育委員会の開催

- (1) 飯豊町教育委員会会議規則（昭和44年7月17日教委規則第2号）により、教育長が必要と認めた場合において開催することとしている。
- (2) 教育委員会会議については、原則公開としているが、令和5年度において傍聴者はなかった。
- (3) 教育委員会会議の開催予定及び会議の概要について、町ホームページでの周知・公開を今後検討する。
なお、令和5年度の開催状況は以下のとおりである。

令和5年第4回教育委員会(R5.5.2)

議事

- (1) 飯豊町教育支援委員の委嘱について
- (2) 飯豊町学校給食共同調理場運営委員の委嘱について
- (3) 飯豊町子ども・子育て会議委員の委嘱について
- (4) 飯豊町子ども読書活動推進協議会委員の委嘱について
- (5) 飯豊町社会教育委員の任命について
- (6) 飯豊町公民館運営審議会委員の委嘱について
- (7) 飯豊町公民館分館長の委嘱について
- (8) 飯豊町義務教育学校開校準備委員会設置要綱の設定について

令和5年第5回教育委員会(R5.6.9)

議事

- (1) 飯豊町立学校運営協議会委員の任命について

令和5年第6回教育委員会(R5.8.24)

議事

- (1) 飯豊町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
- (2) 飯豊町教育支援委員の委嘱について
- (3) 令和6年度使用小学校用教科用図書及び中学校用教科用図書の採択について
- (4) 令和4年度「教育に関する事務の管理及び執行状況」の点検及び評価報告書について

令和5年第7回教育委員会(R5.10.2)

議事

- (1) 飯豊町幼児施設園児送迎バス運行要綱の設定について
- (2) 飯豊町スクールカウンセラー設置要綱の一部を改正する要綱の制定について
- (3) 義務教育学校開校に係る校名の案の決定について

令和5年第8回教育委員会(R5.11.29)

議事

- (1) 飯豊町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- (2) 飯豊町学校給食共同調理場運営委員の委嘱について

令和6年第1回教育委員会(R6.1.21)

議事

- (1) 飯豊町児童厚生施設設置条例を廃止する条例の設定について
- (2) 飯豊町子育て支援センター設置条例の設定について

- (3) 飯豊町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
- (4) 飯豊町児童厚生施設運営規則を廃止する規則の設定について
- (5) 令和6年度飯豊町学校教育指針について
- (6) 令和6年度飯豊町社会教育指針について

令和6年第2回教育委員会(R6.3.7)

議事

- (1) 令和6年度教職員人事異動の内申について

令和6年第3回教育委員会(R6.3.22)

議事

- (1) 飯豊町子育て支援センター管理規則の設定について
- (2) 飯豊町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について
- (3) 飯豊町こどもみらい館協力金徴収要綱を廃止する要綱の設定について
- (4) 令和6年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
- (5) 飯豊町立学校歯科医の委嘱について
- (6) 飯豊町社会教育推進員の委嘱について
- (7) 飯豊町青少年育成推進員の委嘱について
- (8) 飯豊町スポーツ推進委員の委嘱について
- (9) 令和6年度飯豊町職員人事異動の内申について
- (10) 教職員の懲戒処分の内申について

2 教育委員会協議会の開催

当面する検討課題等について意見交換を行った。

令和5年第1回教育委員会協議会(R5.5.2)

- (1) 義務教育学校開校準備委員会について
- (2) 義務教育学校視察臨時校長会報告について

3 教育懇談会、研修会への参加等

教育懇談会に参加したほか、西置賜地区や県の関係機関が開催する研修会に参加し、教育における諸課題について研修した。

[教育懇談会]

- (1) 令和5年度飯豊町教育懇談会(R5.11.24)

[教育委員研修]

- (1) 山形県市町村教育委員大会

講演：「知識を共創する：教育における子供のエンジェンシーと自己主導の学びを可能にする」

講師：森のようちえん kamuro Kids 主宰者
ラーワー・フレデリック氏

- (2) 西置賜地区教育委員会協議会研修会

講演：「出藍の誉れ」時代の学校教育と教育行政

講師：置賜教育事務所長 紺野 健 氏

- (3) 西置賜地区教育委員会協議会研修会

講演：「(仮) 地域 ICT クラブについて」

講師：株式会社デジコンキューブ 岩瀬 義和 氏

(3) 義務教育学校開校に向けた先進地視察

(R5. 11. 28～29)

視察先：戸沢村立戸沢学園、遊佐町立遊佐小学校

[学校等訪問]

各幼児施設及び小中学校、調理場訪問 (R5. 10. 12、10. 26)

2 教育委員会の事務の点検・評価

(重点項目) 学校教育の充実

◇目標 「SDGs 未来都市」に選定された飯豊町として、地球環境の危機的状況を理解し、対処するための知識を育みつつ、グローバル化が進む社会に適応できるよう、知・徳・体のバランスのとれた、新しい時代に活躍できる子どもの育成を目指します。地域とのつながりを大事に、連綿とつないできた文化や先人の思いを自分事として学び、社会の中で主体的に生きることができる子どもを育てます。

特別な教育的支援を必要とする子どもたちへの対応や、家庭環境、経済的状況等による教育格差解消に向け、関係機関と連携して取り組んでいきます。少子化が進行する中、子どもたちにより良い教育環境を確保するため、町内幼児施設と小学校の再編を進めていきます。

〈達成状況〉事業 13 項目のうち、達成 (◎): 10 概ね達成 (○): 2 未達成 (×): 1 評価不能※ (ー): 0

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
1. SDGs 教育の推進				
◇学力向上推進プランや町営学習教室「いいで希望塾」の実施	(1) 学力向上推進プランに基づき、SDGs の精神を活かした教育を実践	×未達成 令和 5 年度の標準学力調査において、本町の小中学校の教科総合偏差値平均の目標値は 53 点に対し、小中学校ともに達成できなかった。	標準学力調査教科総合偏差値平均点 【目標】 53 点 【実績】 小学校：51.7 点 中学校：51.8 点	◇学力向上推進プランに基づき、SDGs の精神を活かした教育を実践し、推進していく。
	(2) 学習習慣の定着と学力の向上を目指し、中学生を対象とした町営学習教室	◎達成 令和 5 年度は、年間 20 回の開催を達成することができ	「いいで希望塾」年間開催回数 【目標値】 20 回	◇中学生を対象とした町営学習教室「いいで希望塾」について

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>◇学校教育指導専門員の配置（教職員への授業指導）</p>	<p>室「いいで希望塾」を継続して開講</p> <p>(3) 学校教育指導専門員の配置（教職員への授業指導）</p>	<p>た。</p> <p>◎達成 学校教育指導専門員による小中学校の授業参観を186回実施し、指導方法に関する評価や改善の提案を教員へ行った。さらに教員を対象とした授業参観（154回）、示範授業（4回）、面接指導（30回）、「授業づくり資料」の発行（20回）等を実施した。学校教育指導専門員のきめ細かい指導と取り組みにより教員の指導力向上や学校経営の改善向上を図ることができた。</p>	<p>【実績】 3年生：20回 1・2年生：20回 参加生徒数：48名</p> <p>学校教育指導専門員配置人数 【目標】 1名 【実績】 1名</p>	<p>ては、令和6年度においても引き続き実施し、各学年20回の開催を予定している。</p> <p>◇引き続き学校教育指導専門員を配置し、小中学校の教員のスキルアップの支援を行っていく。</p>
<p>◇スクールカウンセラーによる臨床心理指</p>	<p>(4) スクールカウンセラーによる臨床心理指導、定</p>	<p>◎達成 スクールカウンセラーを配</p>	<p>◇スクールカウンセラー配置人数</p>	

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>導、定期相談や早期支援連携事業の実施</p>	<p>期相談や早期支援連携事業の実施</p> <p>(5) いじめの早期発見及び対応に努めるとともに、「飯豊町いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止に向けて、学校における取組状況の点検や教員研修の充実を啓発し、指導主事やスクールカウンセラーによる個別の相談活動や指導・助言を行う。</p> <p>また、「Q-Uテスト」を全校で実施するとともに、スクールカウンセラーによる心理相談を実施</p>	<p>置し、問題を抱える児童生徒の自立支援や相談活動、問題行動の未然防止のため自立支援員や学校支援員を各校に配置するとともに、教育相談体制の充実を図ってきた。</p> <p>◎概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校は、1学期に85件、2学期に46件、3学期に6件のいじめ問題が報告された。すぐに学校いじめ防止方針に基づいて対応し、うち131件が解消し、6件は解消に向けて取り組んでいる。 ・中学校は、1学期に5件、2学期に1件、3学期に1件のいじめ問題が報告された。すぐに学校いじめ防止方針に基づいて対応し、うち6件が解消し、1件は解消に向けて取り 	<p>【目標】 1名 【実績】 1名</p> <p>◇いじめの報告数に対する対応</p> <p>【目標】未解消数0件 【実績】いじめの報告数小学校137件うち未解消数0件 中学校7件うち未解消数0件</p> <p>◇「Q-Uテスト」全校実施</p> <p>【目標】年1回以上の実施 【実績】実施件数1回</p>	<p>◇いじめ問題に対する取組を学校と教育委員会が一丸となって進め、児童生徒や家庭との信頼関係を築きながら、問題を抱える児童生徒一人一人に応じた指導・支援を積極的に進めるとともに、関係機関が連携し、今後もいじめ問題の発生を未然に防ぐ取組を恒常的に実施する。また相談窓口を継続し</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>2. ふるさとを愛する心を育む教育の展開</p> <p>◇「いいでの子、大したもんだプロジェクト」の教育プログラム開発</p>	<p>(6) 学校に対し体罰を把握した場合には直ちに報告するよう求め、体罰の実態把握に努める</p> <p>(7) 小中学生を対象に町内を受験会場に数学・算数検定及び漢字検定を実施</p>	<p>組んでいる。</p> <p>◎達成</p> <p>・学校における体罰件数は0件であった。</p> <p>◎達成</p> <p>・延べ50名の児童・生徒が受験。合格者数は45名であった。</p>	<p>◇体罰の報告件数</p> <p>【目標】 0件</p> <p>【実績】 0件</p> <p>【目標】 教育委員会独自の教育プログラムの実施。</p>	<p>て設置し、その周知を図る。</p> <p>◇教育現場において、教員や部活動の指導者等が体罰に関する正しい認識を持ち、児童生徒理解と適切な信頼関係に基づく指導が行われるよう学校支援を強化し、継続して体罰の発生防止に努める。</p> <p>◇子どもたちの学習意欲を向上させるような取り組みを継続する。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>(8)中学生を対象に英語・数学・漢字検定で3級以上を受験する場合、検定料を一律1,000円補助する。</p> <p>(9)「算数・数学難問クイズ」を毎月、各小中学校に設置</p> <p>(10)身近な地域教材や伝承文化、地域事業内容を総合的な学習の時間のプログラムに取り入れ、自然環境を活用した体験教室や地域を知るための郷土教育を推進</p>	<p>◎概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生延べ33名が、補助金の交付を受けて、検定3級以上を受験した。 英語検定 17名 漢字検定 16名 数学検定 0名 <p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生延べ225名、中学生延べ45名が「算数・数学難問クイズ」にチャレンジした。 <p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の活動を中心として、社会科町めぐり探検や職場体験学習、学校田(林)活用、ボランティア活動など、総合的な学習の時間に多彩なプログラムが実施されており、 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学、算数検定及び漢字検定の町内での開催 ・数学・算数検定 1回目受験 12名 2回目受験 21名 ・漢字検定 受験者 17名 <p>・「算数・数学難問クイズ」の実施。子どもたちの学習意欲の向上に寄与した。</p>	<p>◇中学生を対象に英語・数学・漢字検定の受験料に対し補助制度を実施する。</p> <p>◇引き続き、確かな学力を育むために一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図る。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>3. 教育環境の充実</p> <p>◇外国語指導助手の配置とICTコーディネーターの配置（外</p>	<p>(11)一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図りながら確かな学力を育み、子どもの豊かな創造力と個性を伸ばす教育を進めてきた。</p> <p>(12)小中学校及び幼児教育施設において、学習指導要領に基づく学習指導や</p>	<p>地域の有識者を招いての郷土学習を行うなど地域に誇りと愛着を持つ学習が重視されている。</p> <p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの興味・関心を高め、豊かな心で未来を生き抜く力を身につけさせるための学校生活支援や、子ども主体の学校行事の支援を行ってきた。各校とも、学習発表や学校行事、ボランティア活動、児童生徒会活動等の場面を通して、自分の思いや考えを伝え合い、共に高め合う取り組みが継続的になされている。 <p>◎達成</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際化社会に対応した教育施策の一環として、外 	<p>【目標】 外国語指導助手及びICTコーディネーターの</p>	<p>◇引き続き外国語指導助手の配置及びICTコーディネ</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>国語教育の強化、プログラミング教育)</p> <p>◇学校の在り方(再編)についての検討</p>	<p>異文化理解等が深められるよう、外国語指導助手を継続して2名配置。また、学校でのICT学習を推進するためICTコーディネーターを配置</p> <p>(13)義務教育学校を令和8年4月から開校するための義務教育学校開校準備委員会を設置する。開校に向けた準備を進めるとともに、令和5年度中に新しい学校の校名を決定し、飯豊町立学校設置条例を改正する。</p>	<p>国人の外国語指導助手を配置し、外国語によるコミュニケーション能力の向上や国際感覚の養成する授業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクールのタブレット端末を活用し、プログラミングの授業を実施した。 ・ICT支援員を配置し、ICT学習の充実を図った。 <p>○達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年6月に義務教育学校開校準備委員会を設置した。 ・令和5年12月の町議会で「飯豊町立学校設置条例の一部改正」が審議され、義務教育学校の設置と校名を「飯豊町立いいでの森学園」とすることが可決、承認された。 	<p>配置</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇外国語指導助手2名を配置 ○英語・ICTコーディネーター1名を配置。 <p>【目標】</p> <p>開校準備委員会の会議を年6回開催</p> <p>【実績】</p> <p>会議6回開催</p> <p>【目標】</p> <p>町全体説明会を年2回以上開催する。</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数2回 ・参加者合計63人 	<p>ーターを継続する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇さらにICT教育の充実を図るため引き続きICT支援員を配置する。 ◇ICT機器の計画的な更新を行うとともに、更なるICT環境の充実を図り、情報化社会に対応できる子どもを育てる。 <p>◇開校準備準備委員会で策定した計画に基づき、準備を着実に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇保護者・住民へ経過を丁寧に報告する ◇保護者・住民の意見や質問を聴く手段を設け、丁寧に回答する。

(重点項目) 子育て環境の整備

◇目標 「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、次世代を担う子どもたちを安心して育てられる環境づくりを総合的に進め、子どもが健やかに成長できるまちづくりを目指します。

〈達成状況〉事業 11 項目のうち、達成 (◎): 10 概ね達成 (○): 0 未達成 (×): 1 評価不能※ (ー): 0

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
1. 子育て支援サービスなどの充実	(1)産休明け保育の実施	◎達成 出産後も仕事を続けたいという女性のために、特にニーズの高い産休明け保育(生後3ヶ月～6ヶ月)を実施した。	幼児施設待機児童数 【R5 目標】 0人 【R5 実績】 0人	◇子育て相談窓口の機能強化、多様な保育ニーズへの対応、乳幼児保育の充実、子ども家庭センターと定期的な情報共有などを行い、児童虐待等の未然防止や迅速対応への体制を整備し、総合的な子育て支援体制の充実に努めていく。
	(2)延長保育の実施	◎達成 全幼児施設において午前7時30分から午後6時45分までの早朝・延長保育を実施した。	延長保育実施施設数 【R5 目標】 3施設 【R5 実績】 3施設	◇幼児教育と家庭教育の連携強化を図り、安定した親子関係の構築に努めていく。
	(3)一時保育の実施	◎達成 NPO法人「ほっと」との協働の取り組みによる委託事業として実施した。	一時保育の実施 【R5 目標】 1施設 【R5 実績】 1施設	◇R6 年度より健康福祉課所管となったが、将来の保育需要

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>(4)放課後児童クラブの実施</p> <p>(5)ファミリー・サポート・センターの運営</p>	<p>◎達成 すべての小学校区の児童を対象とし、町内2箇所放課後児童クラブを設置し、保護者の意向調査等から小学6年生までを対象とし実施した。</p> <p>◎達成 育児の援助を行う者と育児の援助を受けたい者を会員とする相互援助活動を組織化することにより、仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域の子育て力を高めていくことを目的とし運営した。 会員数：130人 利用件数57件 (令和5年度末)</p>	<p>学童クラブ待機児童数 【R5目標】 0人 【R5実績】 0人</p> <p>ファミリー・サポート・センターの実施 【R5目標】 1施設 【R5実績】 1施設</p>	<p>の動向や出生数の推移等を見定めながら、就学前児童にとって望ましい幼児教育環境を構築するため、連携していく。</p> <p>◇1～2学年を中心に利用のニーズが高いため、支援員の確保を図るとともに、放課後の子どもの居場所の設置について検討を進める。</p> <p>◇R6年度より健康福祉課所管となったが、子育て支援施策の充実を図るため引き続き連携を図る。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
2. 地域資源を活用した子育て環境づくり	(6) こどもみらい館の運営	<p>×未達成 町民総合センターの大規模改修に伴い、旧添川児童センター施設にて実施。子育て支援センターを併設した自由来館型児童館として、未就園の子どもと保護者、小学生等の集いと交流の場を提供するとともに、育児相談や情報提供などの子育て支援を実施した。 利用実績や運営状況により、R5年度末をもって児童厚生施設としての機能を廃止した。</p>	<p>こどもみらい館利用者数 【R5 目標】 5,000 人 【R5 実績】 1,180 人</p> <p>子育て支援センター事業 ・親子で参加できる広場の開催（月3回） ・子育て講座の実施 ・子育て相談の実施 ・親子で町内幼児施設での交流</p>	<p>◇R6 年度より健康福祉課所管となったが、子育て支援施策の充実を図るため引き続き連携を図る。</p>
	(1) 幼小中の連携	<p>◎達成 「めざまっ子カリキュラム」に沿い、小学校と幼児施設との交流・連携・情報交換を図った。</p>	<p>各園の園児と各学校の児童による交流の機会の確保</p>	<p>◇幼小の連携から、幼少中一貫教育へ向けて、グランドデザインやスタートプログラムの意義を十分に理解し、連携と情報交換、交流が図られるように創意工夫し一層進めていく。</p>
	(2) 食育の推進	<p>◎達成 幼児施設での野菜栽培体験とおやつへの利用、果樹生産者との交流、栄養士との連</p>	<p>食育活動・交流活動実施施設 【R5 目標】 3 園 【R5 実績】 3 園</p>	<p>◇引き続き、子どもたちが農村の豊かさを実感できるような食育の推進に取</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>3. 子育て家庭の負担軽減</p>	<p>(1) 保育施設等の利用者負担の軽減</p> <p>(2) 自園給食以外への給食提供を実施</p>	<p>携による園児・保護者への「食育」の啓発を行った。 祖父母参観の実施、食改グループ、高齢者団体、地域住民との交流を行った。また、郷土愛を醸成するため、地域の食材を活用した手作りおやつを提供した。</p> <p>◎達成 保育料の軽減 ◇令和元年10月より幼児教育・保育の無償化により、3歳～5歳及び3歳未満児の住民税非課税世帯の保育料が無償となった。 3歳未満児に関しては、令和4年4月より保育料について市町村所得層3階層・4階層に該当する世帯は無償化としている。 入園児が、同一世帯の18歳までの子から数えて第3子以降の場合、保育料を無償化、園への複数人の同時入所の場合、2人目の軽減額を拡充し、1/3の額としている。</p> <p>◎達成 わくわくこども園幼児部に、学校給食共同調理場から</p>	<p>町独自保育料負担軽減の実施（第3子以降の無償化、複数人の同時入所の場合、2人目の軽減を行っている）</p> <p>自園給食施設以外への給食提供 【R5 目標】 1園</p>	<p>り組み、ふるさとに対する愛情を醸成していく。</p> <p>◇3歳未満児に関しては、引き続き保育料等の軽減策を継続していく。また、第3子以降の3歳～5歳児の子どもへの給食費と延長保育・預かり保育のおやつ代の無料化を継続していく。</p> <p>◇今後も調理場の給食の配食を実施するとともに、自園給</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	(3) 児童施設の園児送迎バスの運行	<p>のおかず給食の配食を実施し、子どもの成長過程にあった給食提供に取り組んでいる。</p> <p>◎達成 園児の送迎バスとして、スクールバスやワゴン車(わくわくカー)を活用し運行するとともに、保護者会の事務負担を軽減し、保護者負担の平準化を図るため、町にて添乗員を手配し送迎バスの運行を行った。 また園児・児童を送迎する車両に置き去り防止装置を設置し、安全対策の向上に努めた。</p>	<p>【R5 実施】 1園</p> <p>児童施設の園児送迎バスの運行 【R5 目標】 2園 【R5 実施】 2園</p>	<p>食にあっても調理場の献立を基に栄養バランスのとれた給食の提供を行っていく。</p> <p>◇ 今後も町主体によるバス運行を継続し、保護者の利便性の向上に努める。</p>

(重点項目) 生涯学習活動の推進

◇目標 心豊かで品位のある人間性、創造力に富むたくましい人間、ふるさとの良さを知り飯豊町で生きる誇りを持てる「いい人」を育てるため、学習機会の充実や学習情報の提供を推進し、多様な生涯学習の展開をはかります。

〈達成状況〉事業12項目のうち、達成(◎):5 概ね達成(○):7 未達成(×):0 評価不能※(ー):0

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
1. 生涯学習推進体制の整備充実	(1) 生涯学習推進体制の充実	◎達成 各地区公民館と連携し、地域を学び、地域の資源や特色を生かした創意工夫の生涯学習活動と地域文化の伝承に取り組んだ。	各地区公民館との打合せ回数 【目標】12回 【実績】12回	◇地区公民館、地域及び関係機関等と連携を深め「集う・学ぶ・つなぐ」を理念とした生涯学習推進体制の充実を図る。
	(2) 社会教育施設の維持及び整備	◎達成 施設利用環境の各種整備をした。	中部地区公民館転落防止手すり設置、中津川地区公民館FF式石油暖房機設置	◇地区公民館など社会教育施設の適切な機能維持を図り気軽に利用し易い施設環境の整備を図る。
	(3) 社会教育施設を中心とした生涯学習環境の整備	◎達成 各地区分館施設管理費とし	東向分館(西部)、財津堂分館(白	◇老朽化が進む分館の施設管理につい

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
2. 地域とともにすすめるまちづくりの推進	<p>備・充実を促進した。</p> <p>(1)家庭教育及び地域学校協働本部事業の充実</p>	<p>て分館施設整備事業補助金を交付した。</p> <p>◎達成 家庭教育の推進として、各小学校の就学時健診や幼児施設のPTA研修会等の機会を活用し、各種講演や親子で楽しむ運動教室などの開催を通じて、家庭教育のさらなる推進を図った。</p>	<p>椿)、小白川分館(白椿)、下黒沢分館(中部)、松原分館(東部)等の部分修繕</p> <p>家庭教育の推進アンケート結果(幼児共育広場)</p> <p>【目標】 好意的評価95%以上</p> <p>【実績】 良かった以上98.7% また参加したい91.9% 小学校3校 幼児施設1施設で実施</p>	<p>て今後も適切な維持管理に努めていく。</p> <p>◇家庭教育の推進 できるだけ多くの保護者が参加できるように、開催時間や方法について配慮する。講演だけでなく、保護者同士の意見交換ができる場を創出する。</p>
3. 生涯学習の推進と学習情報の提供	<p>(1)生涯学習の推進</p>	<p>○概ね達成 学校・家庭・地域連携協働活動 町内の各小中学校に地域学</p>	<p>小学校4名/4校 中学校1名/1校</p>	<p>◇学校・家庭・地域連携協働活動 地域と連携した学</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		<p>校協働活動推進員を各1名配置し学校と地域のパイプ役として、地域ボランティア活動や職場体験学習、地域学習、校外学習などの連絡・調整を行い、地域住民の参画を得ながら仕組みづくりを行った。</p> <p>○概ね達成</p> <p>図書室の利用拡大</p> <p>読書に親しむ機会や習慣を幼少期から構築していくため、絵本の読み聞かせ広場や各種の体験教室などを開催した。また、読書推進企画として、「本の福袋」「読書の木」などを実施した。総合センター大規模改修により、図書室の使用ができない期間については、地区まちづくりセンターと連携し、出張わくわくおはなし会を開催した。</p>	<p>図書室の利用拡大</p> <p>・貸出延べ冊数</p> <p>大規模改修のため</p> <p>目標数値化不可</p>	<p>習環境の整備・充実に努め、子どもたちの成長を支え、郷土愛の醸成を図りたい。</p> <p>◇図書室の利用拡大</p> <p>図書室の利用者は固定化しており、中学生～20代の利用が落ち込む傾向がある。町民の身近な学びの拠点である図書室の利用の裾野を拡大したい。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>(2) 学習情報の提供</p> <p>(3) 地域の特徴を活かした、公民館活動や、まちづくり事業の展開</p>	<p><u>○概ね達成</u> いいで天文台事業 業務委託により、天文台設備による星空案内、地域・学校に出向いた天文教室、中部地区公民館にて常設展示、東部地区公民館及び西部地区公民館にて天文台紹介展示を行い、天文教育の普及に努めた。</p> <p><u>○概ね達成</u> 学習情報の提供 地域の要望や要請に応じた魅力ある学習機会の提供と、町民に対する学習情報の発信に努めた。</p> <p><u>◎達成</u> 各地区公民館事業 ・地域資源を活かした多世代が交流できる事業を企画。</p>	<p>天文台利用者数 (出前講座等含む) 【目標】 500人 【実績】 622人</p> <p>各地区公民館事業 地区公民館(5館) 利用者数 【目標】 30,000人</p>	<p>◇いいで天文台事業 予約公開や主催事業を継続して行う。 また、学校活動や子ども会育成会とも連携し、天文台施設を活用した生涯学習を推進する。</p> <p>◇生涯学習に対する住民ニーズの把握に努めるとともに、各地区公民館、飯豊少年自然の家、源流の森や名所など町内資源の活用及び情報発信を推進する。</p> <p>◇各地区公民館事業 町第5次総合計画に基づき、いいでの子大したもんだプ</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		<p>ホームページ・チラシ等による周知及び開催状況の情報発信に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化祭は、コロナ禍前の賑わいを再現すべく、従来の展示等に加え、地域の方々が参加できるものや、飲食物の提供なども行った。各館で工夫を凝らしながら、地域の活性化に貢献する取り組みを実施した。 <p>○概ね達成</p> <p>青少年の健全育成の推進</p> <p>町青少年育成推進員と連携し、研修会の開催、有害図書類調査、いじめ・非行防止標語募集・審査を行い、青少年をとりまく環境の向上に努めた。いじめ防止標語飯豊町優秀作品についてポスター掲示を行った。</p> <p>各地区子ども会育成会連絡協議会を通じ、各単位子ども</p>	<p>【実績】 37,287人</p> <p>目標数値化不可</p>	<p>プロジェクトはじめ、各地区公民館での主催事業や生涯学習施策を推進する。</p> <p>◇青少年の健全育成の推進</p> <p>青少年の健全育成の推進にあっては、町青少年育成町民会議会員と連携し、地域を挙げて青少年の心豊かな成長を守る取り組みを推進する。</p> <p>今後も、各地区子ども会育成会に対し、</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		<p>会育成会に対して子ども会活動活性化推進補助金を交付し、活動費の支援を図った。</p> <p>コロナ禍で制限されていた活動については、徐々に従来の活動が復活され、活性化されてきている。</p>		<p>補助事業を活用した活動の活性化について継続的に支援する予定である。</p> <p>できる限り地域資源を活用し、学校・地区公民館とも連携できる支援・育成の在り方について検討する。</p>

(重点項目) 文化財保護と利活用の推進

◇目標 ふるさとの自然や地域文化を愛する心を育て、創造的でにぎわいのある地域づくりをめざすため、文化財の保護と活用をはかります。

〈達成状況〉事業2項目のうち、達成(◎):1 概ね達成(○):0 未達成(×):1 評価不能※(ー):0

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
文化財保護と利活用の推進	<p>(1) 貴重な文化財や地域史研究資料の保全と活用</p> <p>(2) 地域の歴史や文化を後世に伝えるための基盤づくりを推進した。</p>	<p><u>◎達成</u> 文化財の保護及び利活用の促進</p> <p><u>×未達成</u> 飯豊町の歴史文化の普及啓蒙活動</p>	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩生城址、萩生石箱遺跡公園の維持管理。 ・開発事業に対する埋蔵文化財対応(1件) ・カモシカ対応(1件) ・開発に伴う埋蔵文化財問い合わせ対応 <p>・飯豊学講座の開催(2回)</p>	<p>◇飯豊町歴史文化基本構想のスケジュールに沿って、飯豊遺産の保護と利活用を促進していく。</p>

(重点項目) 生涯スポーツ活動の推進

◇目標 スポーツをとおして、明るく豊かで活力に満ちた地域づくりを進めるため、「町民一人1スポーツ」を目標に生涯スポーツの推進をはかります。

〈達成状況〉事業4項目のうち、達成(◎):1 概ね達成(○):3 未達成(×):0 評価不能※(ー):0

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
心身の健康と体力増進のための町民一人1スポーツの推進	<p>(1)町民一人1スポーツ推進のための事業展開</p> <p>・生涯スポーツの推進に向け、町民一人1スポーツを目標とし、スポーツ協会、いいでスポーツクラブキララ、スポーツ推進委員会などと連携を図った。</p> <p>ダムマラソンをはじめ各種事業を実施することができた。</p>	<p>○概ね達成</p> <p>関係団体との協働・連携促進</p> <p>町スポーツ協会(地区スポ協・スポーツ団体)及びいいでスポーツクラブキララの各種事業の支援を図った。</p> <p>工事によるコース変更はあったが、無事全国白川ダム湖畔マラソン大会を実施した。町民プールについては、学校利用の細部にわたる調整を行い、学校利用と一般利用の区別化、明確化を図ることができた。学校生徒以外の利用は少なかった。</p>	<p>町民スポーツセンター利用者数</p> <p>【目標】9,000人</p> <p>【実績】11,802人</p> <p>町民プール利用者数</p> <p>【目標】4,000人</p> <p>【実績】4,582人</p> <p>手ノ子スキー場利用者数</p> <p>【目標】30,000人</p> <p>【実績】133人</p> <p>いいでスポーツクラブキララ会員数</p> <p>【目標】320人</p> <p>【実績】272人</p>	<p>◇いいでスポーツクラブキララについて、町民の参加促進やクラブ事業の充実を図り、一般会員数の増加に努める。</p> <p>また、スポーツ推進委員・公民館との連携促進を図り、生涯スポーツの普及を進める。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>(2) スポーツ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 町民スポーツセンター、手ノ子スキー場、自然観察学習園 グランドゴルフ場などのスポーツ施設の管理・運営にあたり、施設利用の促進を図った。 	<p>た。</p> <p>◎達成</p> <p>町総合体育大会の開催</p> <p>町スポーツ協会及び各地区体育協会と連携し、スポーツを通じた交流づくり・健康づくりに努めた。</p> <p>○概ね達成</p> <p>施設利用環境の各種整備</p> <p>町民スポーツセンター及び手ノ子スキー場の管理運営を業務委託し、受託者等と連携して施設環境の整備に努めた。</p> <p>手ノ子スキー場シュレックリフトについては、令和6年度大規模改修を行う。</p>		<p>◇町総合体育大会については、スポーツを通じた交流づくりとして今後も継続するが、「町民一人1スポーツ」を見据えた大会のあり方について検討を行う。</p> <p>◇町民スポーツセンター、町民野球場、町民プール、手ノ子スキー場、中津川体育館などのスポーツ施設の利便性向上と安全確保を図り、利用の拡大を図るために関係団体とも連携し、継続して各施設の設備整備に取り組む。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>(3) スポーツ団体の育成と競技力の向上</p> <p>(4) 子どもたちの体力等の向上やスポーツに親しむための事業展開</p>	<p><u>◎達成</u> 指導者の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 各競技指導者の人材確保と指導力向上を図り、小学生から中学生までの競技力の向上を図った。 <p><u>◎達成</u> 上位大会の参加費用への補助を行った。</p> <p><u>◎達成</u> スポーツ教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童、生徒の運動能力の向上を目指した。 	<p>スポーツ少年団指導者の上部研修会参加に係る支援を行った。</p> <p>全国規模の大会参加者に対し、大会登録料・旅費など参加経費の補助による支援を行った。(3件)</p> <p>町小学校体育振興会と連携し、小学生の走力向上を図るため、町小学校陸上大会において陸上教室を開催した。</p>	<p>◇上位大会への参加費用補助による、競技力の向上を応援する支援事業を継続する。</p> <p>◇小学生の運動能力向上を図るため、今後も各種教室を継続して開催する。</p>

(重点項目) 多様な芸術文化活動と音楽活動の推進

◇目標 誰もが、どこでも、芸術文化や音楽に親しみ、感動の機会に触れることのできる環境の整備を進めるとともに、芸術文化団体の創造的な活動に対して、支援します。

〈達成状況〉事業3項目のうち、達成(◎):1 概ね達成(○):1 未達成(×):1 評価不能※(ー):0

※調査の中止等により、数値の把握が不可能だったもの

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
1. 芸術文化活動の奨励事業	(1)各種芸術文化団体の活動について、新型コロナウイルス感染症予防対策として、活動自粛を実施しており、思うような取り組みができない状況であった。	<u>×未達成</u> 49回芸能発表会 ⇒ 中止	◆町芸術文化協会 会員数 【目標値】 240人 【実績】 204人	◇コロナ禍で芸術文化協会会員数や活動の減少が顕著であったが、今後は総合芸術祭の開催に向けて各団体と調整し、従来以上に芸術文化の普及と発展を支援していく。
	(2)町民総合センターを活用し、優れた芸術文化を鑑賞する機会について、山形交響楽団を招いて開催できた。	<u>◎達成</u> 9月12日(火) 町内の全小中学生を対象に芸術鑑賞教室を開催し音楽の鑑賞を行った。芸術分野についての興味関心を引き出すきっかけすることがで	目標数値化不可	◇子どもたちが芸術に触れる機会を今後とも継続して創造していく。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
1. 音楽からのまちづくりの推進	(1)新型コロナウイルスは5類に移行し、制限が少なくなったものの町民総合センターの大規模改修や豪雨災害の影響で規模縮小での開催となったものもあった。	きた。 ○概ね達成 ・6月17日(土) プレ・ド・フェット・ド・ラ・ミュージック開催 ・第15回めざみの里カンタート ⇒町民総合センター大規模改修工事のため、令和6年度へ延期 ・9月2日(土) めざみの里復興祈願祭 ・11月11日(土) 第28回めざみの里音楽祭 ⇒通常開催	目標数値化不可	◇音楽分野は、コロナ禍において大きな影響を受けたものの、町内小中学校や各音楽団体の機運は高まってきている。 今後は町民誰もが音楽を気軽に親しめる場を継続して提供していくことで、音楽からのまちづくりを推進していく。